



忍路

教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和5年10月27日

忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより7号



忍路小中 HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

「オープンキャンパスを実施」

校長 村中 寿幸

学校の白い壁にたくさんのカメムシがくっつき、窓ガラスなどのすきまから暖かい校舎内に侵入し越冬しようとする姿が見られ冬の訪れを感じます。カメムシの苦手な人には大変な時期ですね。

さて、先日、学校からの案内でお知らせしましたように、今年度も10月30日から11月10日までオープンキャンパスを行います。オープンキャンパスとは、忍路中央小学校、忍路中学校に関心のある児童生徒やその家族に学校のことをよく知ってもらうための取組です。よく大学や専門学校、高校などが開催し、体験入学やオープンスクールなどと呼ばれることもあります。オープンキャンパスの案内については、小樽市教育委員会を通じて市内全ての小中学校、幼稚園、保育所、また、余市町教育委員会に配付し広く周知しております。

今、日本全国で何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にある児童生徒が増加しています。令和4年度北海道教育委員会の調査によると、上記のような理由で登校しないあるいはできない小学生が8,359人、中学生が11,702人となっています。小樽市でも様々な理由で登校しないあるいはしたくてもできない児童生徒の数が増加しています。その登校したくてもできない理由として「学校が楽しくない」「多人数での学校生活が苦手」「たくさんの小学校から1つの中学校への進学が不安」などが考えられます。そこで、そのような様々な理由から登校したくてもできない児童生徒が安心して学ぶことができる場所として、小中併置校である本校の存在が大切になってきます。校区に山、海、川があり豊かな自然を活用した楽しい体験的な学習ができます。本校はとても小さな学校のため児童生徒数も少なく静かな環境で学校生活を送ることができます。小中併置校のため中学校進学は校舎のひとつ上の階に移動するだけです。

今後もこのような本校の特色を活かすとともに「チーム学校」として、中学校の先生が小学生を教える「乗り入れ授業」など、学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」の改善に取り組みます。また、忍路中央小学校・忍路中学校が「児童生徒が学びたいと思ったらいつでも学べる場」となるよう環境を整え、学校だよりやホームページなどを通じ本校が快適で温かみがあり楽しい学校であることを発信していきます。

いじめアンケートについて

本校ではいじめの早期解決、未然防止に取り組むため、いじめ防止基本方針を策定し、年に2回のいじめアンケートを実施しています。10月に実施したアンケートの結果は、「いやな思いをした」と回答した児童生徒は0名でした。この結果に満足することなく、本校ではいじめの未然防止に取り組むと共に、もし保護者や地域の方で、いじめに関する件でご心配な点がありましたら、本校へご連絡をお願いいたします。

●忍路中央小学校・忍路中学校 いじめ防止対策委員会 担当：柴田 64-2301

小中発表会 終了

10月14日(土)に、小中併置校となり2回目となる小中発表会を無事に開催することができました。約50名近い保護者や地域の方にご参観いただきました。

小学生は旅行的行事のまとめ発表や器楽演奏、合唱などがあり、中学生は市内研修、旅行的行事のまとめ、個人の創作研究を発表しました。

小中学生共に、発表会に向けて一生懸命練習し、発表後は参観していただいた方から多くの拍手をいただきました。極小規模校のため、限られた仲間の前で発表する機会がありますが、大勢の観客の前で表現する機会が少ないことから、発表会のような機会を通じ、考えや思いを自信を持って伝える学習を今後も行っていきます。



中学校 稲の脱穀

本校では『ふるさとキャリア教育』の一環として、地域の農業について学び、小学生は田植え、中学生は稲刈りを体験しました。刈り取った稲の一部を学校で乾燥させ、今回中学生が手作業で脱穀を行いました。

中学生や中学校教員全員が協力して作業しましたが、1時間の作業で全ての籾殻を外すことはできませんでした。今回の作業では茶碗一杯分のお米にすることもできず、子どもたちは昔の農作業の苦労や、食べ物の貴重さについて学ぶことができたように思います。



デジタルドリルについて

10月から、デジタルドリルのアカウントを使用できるようになりました。1人1台端末を使い、下の学年の学習までふりかえることができます。授業の中で習熟の学習等で活用しますが、ぜひご家庭でも個々に応じた過年度の振り返り学習などにご活用ください。

●学年×10分+10分の家庭学習が目安です。

小学校 端末活用授業

小樽市では1人1台端末活用と、学校全体の授業力向上を目的に、推進教員が市内の学校で授業を行っています。10月18日(水)には、本校の小学生を対象に3名の推進教員が国語と算数の授業を指導しました。子どもたちは1人1台端末を活用した学習を行い、国語では漢字の熟語をつくる課題や、算数ではかけ算や体積を求める課題に取り組みました。

本校ではこれまでもICTを活用した授業や進度に応じた学習に取り組んできましたが、今回の端末活用授業実施を通じて、改めてICTを活用した授業について研修を深めることができました。



絆づくりメッセージ

本校では、いじめやネットトラブルの根絶を目指し、全校で『絆づくりメッセージコンクール』に作品を提出しています。

今年度、本校中学生の作品が後志管内の中学校の部で最優秀賞に入選しました。他の児童生徒が創作した作品も良い作品でしたが、最優秀賞に選出されたことは素晴らしいことです。

<絆づくりメッセージコンクール

中学校の部最優秀賞作品>

顔の見えない会話こそ

3秒待つて

読み返し

忍路小中公開研究会について

11月20日(月)5校時に忍路小中公開研究会を実施し、本校の授業を他校の教職員に公開します。令和5年度は中学1年生を対象に保健体育の授業を行い、研究会を通じて本校教員の授業力向上や実践的指導力向上を図ります。当日、他の学年の児童生徒は4時間授業と給食後下校となります。

オープンキャンパスについて

10月30日(月)から11月10日(金)の期間で、忍路小中学校オープンキャンパスを実施し、忍路・蘭島地区以外の児童生徒に、特色ある本校の教育活動を紹介する取組を実施します。